

各地区業況アンケート結果（2020年9月調査分）

（2020年9月23日）

全国鉄鋼販売業連合会

9月18日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ75名の回答があり（回答率53.2%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 売上数量、前年割れ企業が8割強に

問1】貴社の8月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	2	3	8	12	49	74	68
比率	3%	4%	11%	16%	66%	DI-139	DI-122
売上金額/前年同月比	1	3	4	15	52	75	69
比率	1%	4%	6%	20%	69%	DI-152	DI-141

2. 赤字企業前月より増加6割弱

問2】貴社の8月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	3	14	15	21	22	75	68
比率	4%	19%	20%	28%	29%	DI-60	DI-29

3. 9月に入っても低調な販売状況変わらず

問3】貴社の営業窓口から見て9月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		8	26	11	11	56	-45	-68
民間建設向		11	21	11	17	60	-57	-88
自動車向		8	18	4	6	36	-22	-82
その他需要家向		11	20	17	11	59	-47	-75
仲間取引		10	27	15	13	65	-48	-88
計		48	112	58	58	253	-46	-81
比率		17%	41%	21%	21%			

4. 秋需も期待できず

問4】貴社における向う10月から12月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	22	30	12	7	72	68
比率	1	31%	42%	17%	10%	DI -3	DI -34

5. 在庫調整進むもいまだ多少過剰感あり

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品種別	A	B	C	D	E		9月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-28	-31	-27	-34	-9	-21	-25	-31	-32	-38	-24	-25	-4	鉄筋用丸鋼	2		25	2	1	30	0
-23	-29	-28	-25	-21	-29	-17	-27	-32	-26	-35	-38	-17	構造用丸鋼		2	20	4	1	27	-15
-20	-10	-12	-6	-15	-12	-6	-17	-26	-23	-25	-23	-14	平角鋼			29	3		32	-9
-29	-29	-18	-13	-6	-16	-30	-13	-31	-30	-20	-19	-4	H形鋼		2	26	3		31	-3
-15	-26	-11	-19	-22	-16	-28	-36	-29	-38	-38	-41	-33	コラム			17	7		24	-29
-16	-24	-16	-17	-22	-16	-17	-18	-16	-24	-34	-29	-14	小形山形鋼			30	4		34	-12
-23	-29	-21	-22	-29	-30	-24	-24	-25	-33	-30	-26	-10	中形山形鋼		1	27	5		33	-12
-21	-26	-29	-19	-26	-26	-20	-24	-32	-39	-40	-27	-18	溝形鋼		1	27	5		33	-12
-15	-34	-30	-31	-29	-26	-20	-24	-18	-21	-30	-27	-27	軽量形鋼C形			24	5		29	-17
-11	-25	-16	-15	-18	-26	-15	-15	-17	-26	-21	-25	-25	軽量形鋼広巾			16	3		19	-16
-58	-58	-53	-53	-47	-61	-58	-58	-71	-65	-70	-57	-58	冷延薄板			17	9	1	27	-41
-55	-50	-56	-60	-47	-55	-55	-56	-73	-58	-71	-64	-54	熱延薄板		1	19	10	1	31	-35
-53	-68	-59	-53	-52	-63	-68	-66	-76	-64	-62	-53	-57	表面処理鋼板			23	7	2	32	-34
-51	-57	-53	-56	-58	-64	-65	-70	-85	-77	-78	-80	-67	酸洗鋼板			20	12	2	34	-47
-48	-47	-51	-50	-48	-56	-51	-49	-64	-61	-71	-46	-49	中板		2	26	8	1	37	-22
-38	-45	-51	-49	-49	-49	-44	-63	-63	-72	-60	-46	-52	厚板		1	24	8	4	37	-41
-25	-20	-28	-22	-32	-29	-47	-50	-26	-25	-29	-29	-42	極厚板			15	2	3	20	-40
-13	-29	-27	-21	-23	-25	-18	-20	-32	-21	-33	-26	-24	縞板			23	6		29	-21
-18	-31	-30	-28	-27	-28	-32	-30	-39	-38	-45	-36	-33	中径角			24	6	1	31	-26
-10	-25	-15	-19	-5	-18	-20	-20	-24	-27	-21	-22	-23	ガス管黒			26	4	1	31	-19
-11	-22	-16	-17	-5	-17	-21	-20	-27	-27	-23	-29	-19	構造用鋼管			24	3	1	28	-18
-28	-34	-31	-30	-28	-33	-32	-35	-40	-41	-41	-37	-31	計	2	10	482	116	19	629	-22

6. 中小建築案件は減少傾向、製造業関連は若干回復の兆し

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	8月に入り、急激に売上が落ちてきた。この先も、めぼしい物件はなく苦戦しそうである。
	B	9月だが、北海道道央圏では、形鋼の需要の盛り上がりは見られない。
	C	(丸棒)北海道は中央圏の大型案件があり、デリバリーがスムーズにいかない。しばらく、この傾向にあり年末近くまで品不足が続く模様。
東北	A	土木は少ないながらもあるが、建築は新型コロナの影響で先行き厳しい。新型コロナの終息を願うばかり。
	B	丸棒の出荷数量は好調も、形鋼類の倉出しは低調。新規受注物件は少なく、下期以降低調予想。
	C	地元案件はあるものの、工事着工の延期や中止などもあり、ファブの山積みは少なくなっている。また、先々の見通しが不透明で現状、我慢するしかない。
	D	入札物件がこれから開札になるので契約を増やしたい。
新潟	A	コロナ禍の影響にて全体に低調推移。業種によりバラツキはあるものの現在、仕事を抱えてるが、年明けは不透明。メーカー値上げも含め不安定要素あり。
	B	秋需の期待も薄く、価格転嫁も進まず厳しい状況。
	C	大型物件は少しありそうだが、中小物件が少ない。特に冬場の物件がない。
	D	8月20日以降、取り扱い全鋼種の荷動きが僅かに良くなったが、9月に入り自動車関連を除き逆戻りした。
	E	コロナによる活動制限は相変わらず続いているが、拡大がやや収まりかけたことや新しい日常への対応に慣れてきたこともあるのか、経済活動がやや回復基調にあるように感じる。地方は需要が多いとは言えないが、鋼材価格は上昇傾向にあり、自然体での無理のない商売を継続していきたい。
	F	8月は夏季休暇、夏季休業など稼働日が少なく苦戦したのが実態。荷動きは悪く、特に熱延薄板、酸洗鋼板については在庫過多の状態が続いており価格は弱い。需要動向は自動車業界、メーカー間で差はあるものの下期から年度末に向け、生産回復傾向である。一方、県内建築は中止や延期も見られ、案件が少なく受注競争はますます厳しくなる見込み。
	G	自動車、建機の仕事が少し動いてきたようで期待感が高まるが、いつから我々に仕事が回ってくるのか、いつまで続くのかはわからない。これからメーカー価格も上がってくるようなので在庫を大事に売りたい。
神奈川	A	工作機械向けの受注は回復傾向にある。公共建設、民間建設向けの受注も先月と比べると上向いているが、来月以降の見通しは不透明な状態である。
	B	今月はそれ程、変化があるとは思われないが、10月頃からは多少なりとも案件が出るようなことを数件の得意先から連絡を受けている。現状よりは荷動きが良くなるように思われる。
	C	最近の内外の環境から値上げのタイミングが整ったようだが、実際の切板価格は全く違う動きがある。需要の回復度合いは業界により差がある。
東京	A	与信状況は、引き続き予断を許さない状況。需要動向は8月の盆明け少し出てきたように感じる。輸入材が減ってきており薄板3品在庫も400万トンを超えたことから販売環境は徐々に良好へ向かうものと思っているが、願わくは建築需要がもっと出てほしいものである。

東京	B	土木関連や役所の仕事は忙しい様子。今後、それに伴い建築関連へ動けばよいが、期待はできない。
	C	受注件数および受注内容の質の低下を感じる。中でも工場稼働のために少しでも引合いを頂くため短納期対応を取っている。周りの取引先が雇用調整を活用しており、申請が12月末まで延長するようであれば、弊社も申請する方向で検討を進めている。
	D	浦安の鉄筋の置場、仲間売りの単価は横ばい。動きは8月の稼働日数減の影響で前年比30%ダウン。9月は受注状況からみて10%ダウン位で納まりそうである。この中で協調してがんばってきたい。
静岡	A	地場大手公務店より鉄骨物件を受注し、地場のMグレードファブに請け負って頂いたが、取りまとめて投げられる価格は厳しい限り。首都圏、京阪中心の大型プロジェクト案件は王道を進むがごとの様であり、M、Hグレード以上のファブは超安定である。供給する加工流通大手も今が体力勝負。メーカー側の値上げアナウンスが市場の現状と乖離しており、当然のように安価の供給を求められる。地域限定の鋼管杭の業界も国交省の推奨を頂いていても現場の重機が入れない。隣接地盤への影響問題などで柱状改良に変更される事例が多い。去年の第3四半期から激減。東海地区杭大手が発表する事業内容には脱帽する。凄い。不良債権の発生はないが、中小のキャッシュフロー状況は悪化。
	B	量産品の内示が第3四半期に向け増加傾向。明るい兆しだが、母材の価格動向や年明け以降の継続性など不安はぬぐえない。建築案件は公共物件も含め、1~2ヶ月間は山が高い状況。但し、12月以降は見積り件数も少なく、リーマンショック時と経過動向が似ているため、こちらも不安は大きい。今後、年末に向け与信管理をしっかりしたい。
石川		依然として石川県におけるものづくり業界は冷えたままである。特に工作機械、建機中心なのでなおさら。その他のものづくり機械は何とかまあまあである。富山県、福井県の落ち込みはそれ程でもない。建設関係でも民間物件は延期が多い。頼みの綱である官公庁関連と食品関係の一部はまずまず。毎月報告しているが、官需をこの際もっともっと出件してほしい。
富山		扱い数量の落ち込みが激しい。数量減の中、価格競争はますます厳しく経費が出ない。これから客先の与信問題も本格化するだろう。コロナ対策は諦めてブラジル方式で経済重視に転換する時期が近づいている。
岐阜		定板、定尺、切板（レーザー以外）、条鋼と言った通常品から減っていく。安値で、多少食い止めはできるものの売上と利のバランスはとれない。介入物件などで穴埋めするが、本来コンスタントにあるものではない。販売、運送、品質、そして採用まで全てに高いハードルが求められる。
大阪		メーカーの強基調は変わらないが、市中の荷動きがよくないために流通は販売価格の転嫁に大変苦労している。製造業は4~6月がボトムで下期は多少回復するが、建築は中小物件が少なく、下期は例年に比べ良くないと思われる。
岡山		月を追うごとに対前年比の売上が悪くなる。9月から多少もどるとの噂に期待。某自動車下請けの工場内保全も全く動かない。
香川		地区主力産業の造船、建機などの業績が厳しく、下請けなどへの発注も減少している。二次、三次下請け等、裾野が広く影響も大きい。建築も地場中小案件が少なく、後半も厳しい状況が予想される。
福岡		建築の大型案件は端境期に加え、橋梁も新規案件の改札延期などで案件が激減している。製缶、産機も需要低迷しており、店売りも当用買い中心で荷動き停滞。総じて生産は低レベルで推移している。

北九州	直近の状況は変わらず、荷動きは低調。各所、当用買いに徹しており、スクラップの上昇に伴い、メーカーも値上げするだろうが、たんたんと商売していくしかない。
-----	---